

平成30年度 鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同安全点検実施箇所図

(撫養小学校 2)

☆は対応状況 (H31,2,15 現在)

⑨中山へ向かう車、中山から下ってくる車がスピードを出して通行している。信号のない交差点なので、大変危険である。

〈対策内容〉

- ・横断歩道、減速線、停止線等の補修 ☆完了
- ・カーブミラー設置、センターライン・外側線補修 ☆継続



⑪急に道幅が狭くなる上に、見通しが悪く危険である。

〈対策内容〉

- ・グリーンラインの設置を検討 ☆継続



⑩道幅は広いが、スピードを出して通行する自動車が多く、登下校時に危険である。

〈対策内容〉

- ・駐停車禁止路側帯標示の補修 ☆継続
- ・外側線の補修 ☆継続



⑧登下校の時間帯に、保・幼の送迎車の路上駐車が多く、路側帯をふさいでしまう。一方通行とはいえ、通行量の多い道路なので、児童が大変危険である。

〈対策内容〉

- ・児童・保護者に対し注意喚起・指導を行う。 ☆継続
- ・近辺数カ所で、保護者・教員による朝の交通立哨指導を行う。 ☆継続



⑦保・幼・小・高の送迎の車が非常に多いうえに、北側からはスピードを出したままT字路に進入する車もある。住宅の壁があり、見通しが悪く危険である。

〈対策内容〉

- ・近辺交差点で、保護者による朝の交通立哨指導を行う。 ☆継続

- ・路面標示・外側線等の補修 ☆継続



⑥通学路にしている児童も多いが、自動車の通行量も多い。スピードを出して通行する自動車も多く危険である。

〈対策内容〉

- ・保護者による朝の交通立哨指導を行う。 ☆継続
- ・「止まれ」標示・標識設置 ☆完了

- ・横断歩道・駐停車禁止路側帯標示の補修 ☆完了
- ・外側線の補修 ☆継続



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30情複, 第563号)

※ この点検箇所図を複製して利用する場合は国土地理院長の承認を得なければならない。